

# 三ツ境地区



## 1 地区の概況

- ◆相鉄線三ツ境駅から南へ広がる商業地を含む住宅地域。多少の起伏がある地形である。
- ◆人口は8,890人(15歳未満993人、65歳以上2,399人、世帯数4,287)で瀬谷区の7.2%を占めるが微減傾向にあり、今後も継続して高齢化が進展するものと考えられる。
- ◆自治会加入世帯数は2,690世帯で、加入率は62.7%(令和2年度)。5年前と比較して3.7ポイント減少した。

## 2 第1・2・3期で取り組んだ主な活動や事業

### 第2期まで(~R27年度)

- ◆ふれあいの場づくり
  - ・サロン開設  
「ほっと三ツ境」「ゆうゆうサロン富士見台」
  - ・ふれあい昼食会  
「このは会」「第2このは会」
  - ・子育て支援「ほんわかサロン」
- ◆安心・安全・見守り支援
  - ・防犯パトロール、防犯ステーション(廃止)
  - ・児童安全見守り会
  - ・高齢者配食「木曜の会」
  - ・見守り・支合いカード、緊急カード、容器
  - ・見守りツール「三ツ境ネットくん」
- ◆推進母体「住みよいまちづくり推進委員会」立上げ、機関紙を発行(A4 4頁 年2回発行)

### 第3期(H28~R2年度)

- ◆現状把握3アンケートの実施と課題明確化  
「自治会行事調査」「諸団体活動・行事アンケート」「自治会規約・役員任期調査」  
課題①諸活動が充分認知されず参加者も少ない  
課題②少子高齢化の進展と後継者不足の顕在化
- ◆6つの新たな取り組み
  - ①「情報交換会(自治会先進事例および参加諸団体の活動紹介)」の開催
  - ②「三ツ境サポーターズ」の募集による新しい地域活動の場の提供と、高齢世帯支援活動の開始
  - ③「見守り・支え合いカード」の改善と更新
  - ④「障害者理解促進のための勉強会」の開催
  - ⑤「こどもの居場所づくり」活動のスタート
  - ⑥災害時の「無事確認フラッグ」の作成支援

## 3 第4期計画に向けての課題

- ◆第3期計画で掲げた「みんなで幸せに長生きをする」は、普遍的な究極の目標である。  
今までの活動成果を生かし、できることを継続しながら、革新を加えていくことにより、次の3つの課題を中心に今後も積極的に取り組んでいく。  
課題① 高齢世帯等の見守り・支え合い活動の質を高める  
課題② 自治会や諸団体活動の活性化を図り、地域の活力を高めていく  
課題③ 少子高齢化進展の中、地域の活性化を担う次世代後継者の発掘・育成に務める
- ◆従来からのスポーツ推進委員、青少年指導員制度および防災拠点活動に加え、三ツ境サポーターズ制度など、新たな人材の発掘に繋がる仕組みもスタートした。  
それらの活動を通じて、「自らの意思で継続して地域活性化のチカラになれる人」を見つけ、積極的に育成していくことに繋げていく。

## 4 推進母体

三ツ境地区住みよいまちづくり推進委員会

三ツ境地区が抱える様々な課題解決を目的として、連合自治会、地区社協、各種団体が協働する推進組織

# 究極の目標 みんなで幸せに長生きをするために 高めよう みんなの ご近所チカラ

ご近所チカラ＝遠くの親戚よりご近所さん  
“イザ”という時に、寄り添い助け合えるご近所仲間のネットワーク

## これからの活動のポイント

これまでの活動成果を生かし、より高みを目指して、常に見直しながらか進めていく



## 主要推進項目

### ① 高齢世帯や災害弱者等の見守り活動の充実

- ・「見守り・支え合いカード」により、平常時および発災時における自治会やとなり近所による見守り活動の一層の充実を図る

### ② 「情報交換会」のより効果的な運用

- ・自治会や諸団体の活動紹介だけでなく、各組織が抱える課題を出し合い解決に向けたヒントを話し合える場として、後継者育成問題や生活環境の整備など、重要なテーマに取り組む

### ③ 「三ツ境サポーターズ」活動の強化

- ・参加メンバーの拡大と活動のさらなる活性化を推進すると同時に、次世代リーダー候補の発掘と育成を図る

### ④ 「こどもの居場所づくり」活動の推進

- ・三ツ境小学校と連携を取りながら、広く活動を周知し、こどもの居場所としての活動内容の改善を図る

### ⑤ 「児童安全見守り会」の新しい推進体制の検討

- ・見守りメンバーの高齢化に歯止めをかけるため、新しい募集・呼びかけ体制を検討する